

会議録

会議の名称	令和4年度第2回西東京市地域福祉計画策定・普及推進委員会
開催日時	令和4年10月28日(金) 19時00分～20時10分
開催場所	田無第二庁舎4階 会議室2・3
出席者	伊藤委員(副委員長) 南委員 佐藤委員 小倉委員 中野委員 中岡委員 篠宮委員 山崎委員 米本委員 小口委員 新野委員
欠席者	熊田委員(委員長)
議題	(1)令和元～3年度地域福祉計画進捗状況について(報告) (2)地域福祉計画に係る国等の動向について(報告) (3)第5期地域福祉計画策定に当たっての作業内容(案) (4)市民及び民生委員・児童委員アンケート調査の実施について (5)事業者及び団体アンケート調査の実施について (6)地区懇談会の実施について (7)今後のスケジュールについて (8)関連計画について (9)その他
会議資料の名称	次第 資料1 第4期西東京市地域福祉計画進捗状況調査票(令和元～3年度) 資料2 地域福祉に係る主な国の動向等について 資料3 第5期地域福祉計画策定に当たっての作業内容(案) 資料4-1 アンケート調査 設問一覧(案) 資料4-2 暮らしやすい地域づくりのための地域福祉アンケート【市民】(案) 資料4-3 暮らしやすい地域づくりのための地域福祉アンケート【民生委員・児童委員】(案) 資料5-1 第5期地域福祉計画策定のための事業者アンケート(案) 資料5-2 第5期地域福祉計画策定のための団体アンケート(案) 資料6 第5期西東京市地域福祉計画策定に向けた地区別懇談会 実施概要 案 資料7 第5期地域福祉計画策定スケジュール(案) 資料8 関連計画について 参考資料1 西東京市地域福祉計画策定・普及推進委員会設置要綱 参考資料2 西東京市地域福祉計画策定・普及推進委員会名簿 参考資料3 第4期西東京市地域福祉計画 参考資料4 第4期西東京市地域福祉計画(概要版)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

■開会

■委員紹介

■委員長及び副委員長互選

互選により、熊田委員を委員長、伊藤委員を副委員長に決定。

■議題

傍聴希望者なしなし。

■議題(1)令和元～3年度地域福祉計画進捗状況について(報告)

■議題(2)地域福祉計画に係る国等の動向について(報告)

事務局から、資料を基に説明。

【主な意見】

○委員

成年後見制度利用促進基本計画の内容を本計画にどの程度盛り込むのか。大枠を本計画で定めて、詳細は別途定める予定か。

●事務局

御意見の通りに考えている。

■議題(3)第5期地域福祉計画策定に当たっての作業内容(案)

■議題(4)市民及び民生委員・児童委員アンケート調査の実施について

■議題(5)事業者及び団体アンケート調査の実施について

■議題(6)地区懇談会の実施について

事務局から、資料を基に説明。

【主な意見】

○委員

不登校、ヤングケアラーなどの実態把握はとても難しい。ヤングケアラーに関することは教育委員会や学校と十分に協議して欲しい。

●事務局

ヤングケアラーについては関係機関と調整する。

○委員

①市民アンケート対象者の抽出方法はランダムか。

②昨今の社会情勢から、性別を聞かないアンケートもある。今回は必要なのか。

●事務局

市民アンケート対象者の抽出方法は、性別や年齢の人口比率で按分した上で無作為抽出を行う。御意見を受けて、性別が必要かどうかを庁内で改めて検討する。

○委員

①高校生の意見は聞かないのか。

②中高生特化型施設(児童センター市内 2 か所)を活用すれば、高校生等の意見収集は可能と思う。

●事務局

市内高校にアンケートを行うことを検討している。

御意見を受けて、中高生特化型施設の活用も検討する。その際は御協力いただきたい。

○委員

①市民アンケート問 11 は興味深い。支援を必要とする人を周囲がどの程度気付いているのか注視したい。

②子ども世代に特化して話を聞く意図は何か。

●事務局

市長の理念である「子ども中心のまちづくりから」を踏まえて、本計画策定においても、子どもの意見を取り入れることを考えている。

○委員

①懇談会には社協としてぜひ協力したい。

②市民アンケート等に再犯防止対策に関する設問はあるのか。

●事務局

御意見に感謝する。ぜひ協力いただききたい。

アンケート設問数も考慮し、再犯防止対策に関する意見は団体等ヒアリングで把握することを予定している。

○委員

①市民アンケートの標本数 2,500 人は少ないのではないかと。前回の回収率は比較的良く、かつ、今回はインターネット回答も実施するので回収率は良いと思うが、属性毎に集計すると少人数になってしまう点を懸念している。

②何を把握したいのかを再検討してはどうか。前回調査の結果は何がわかったのか、わからなかったのか。前回調査からの変化や、対策の成果として市民の意識が変わったようなことが見えるアンケートが必要である。調査設計の見通しや仮説を伝えて欲しい。その意図があると資料への意見を出しやすい。

③市民アンケートで把握したい項目はわかるものの、如何せん、設問数が多過ぎる。設問数が多くても回答してもらえよう、費用のかからない何かインセンティブが考えられると良い。

④全体的に少し時間をかけて設問を再検討して欲しい。例えば、ライフステージの変化を踏まえた年齢区分にする。例えば、同居人数によって家庭の状況は違うので、それを把握できるよう

にする等。

⑤設問で削減したものはあったのか。削減理由も明らかにしておいた方が良い。

●事務局

回収率や設問数などは庁内でも議論はあり、その上でこのアンケート案となった。本日の御意見をを受けて、再度、内容と設問数を変更するかどうか、回答しやすいアンケートにできるかを再検討したい。前回から削減した設問もある。

○副委員長

前回調査との経年的な比較をしたり、新たに再犯防止や成年後見の設問を加えると、どうしても多くなる。テーマを絞ったアンケートにする考え方もあるが、来週、委員の意見も踏まえながら検討したい。

○委員

高齢者は行政から来る文章量が多い配付物には抵抗感がある。市民アンケートが多くの高齢者に配付されると回収率に影響することを懸念するが、2,500人は年齢バランス等を考えているのか。

●事務局

配付する年齢等に偏りが無いよう、性別、町別、年齢別の人口比率で按分して抽出する予定である。

■議題(7)今後のスケジュールについて

■議題(8)関連計画について

事務局から、資料を基に説明。

【主な意見】

○委員

成年後見制度利用促進基本計画を策定済みの自治体もある。その計画を含む本計画を予定よりも早く策定してはどうか。

○委員

生きる支援推進計画とは何か。

○委員

本計画と子育て・子育て計画との連携はするのか。

●事務局

市総合計画も同時期に策定する。本計画は市総合計画と連携する必要もあるため、策定期期を定めている。生きる支援推進計画は、自殺防止対策の計画である。子ども・子育て計画との連動・調整は庁内委員会で行う。

■議題(9)その他

●事務局

次回会議は来年2月を予定している。

会議後に資料等に関する御意見をメールにて照会する。御意見は来週中(11/4)に事務局に御連絡いただきたい。いただいた御意見を庁内で検討した結果をもって最終案とする。最終案を委員長、副委員長と協議して決定する。決定は委員長、副委員長に一任とさせていただきたい。決定後に各委員に報告する。

○副委員長

委員長、事務局と調整する。最終決定は委員長、副委員長に一任で御了承いただけるか。

○委員

異議なし。

○副委員長

御協力に感謝する。

これにて本日の会議を閉会する。

■閉会